

町長日誌 No.210



町長日誌の第210号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

4月14日 (水曜日) AM 10:00

令和3年度が始まりました。役場も管理職の退職などで異動があり少し落ち着いたところです。4月の恒例行事である交通安全推進委員会、林野火災予防対策協議会などの総会が終了しました。また、3月沙留漁協は横内組合長が勇退され、新組合長に加賀谷一則氏が選出されました。北オホーツク農協も本日総会を行いました。この様にいつも通りに年度初めの行事が行われているのですが、未だおさまらない新型コロナウイルス対応のため来賓出席が無い場合も多く、入学式も来賓数や挨拶を制限して行いました。大阪圏や首都圏で急拡大している変異型コロナウイルスの報道を聴くにつけ道内も今後が心配になります。

3月28日 (日曜日) ~30日 (火曜日)

昨年11月27日以来の東京出張でした。国が進める「2050年ゼロカーボン」対策のためバイオマス産業都市推進協議会の中央要望に出席してきました。コロナは一応東京も落ち着いていたことから人出はかなり多くなっていましたので、極力タクシー移動で内閣府や農水省などを訪問しました。また、1年半ぶりに雪印メグミルク本社を訪問し、西尾社長と懇談してまいりました。季節柄、都内はどこに行っても桜が満開で本当に見事な眺めでした。ただ、飲食店などでは仕切り板等を設置していないお店も

多く、昨年よりも感染対策が緩くなっているように感じました。飛行機もほぼ満席でしたが札幌からのJRはガラガラで指定席では1両に数名の乗客という有様で、いかに多くの道民が遠出や旅行を控えているかが伺えます。

4月9日 (金曜日)

会議のため札幌出張です。会議終了後、道庁コロナワクチン対策班の責任者を訪れ、医療従事者ワクチン接種が未だになされていない状況を早期に解消するよう訴えてきました。4月12日からは江別市で高齢者ワクチン接種がほんの一部ではありますがスタートします。しかし、道内町村部の多くが医療従事者ですら未だに接種できていません。しかも歯科医や救急隊員は対象から外される状況です。今月医療従事者分として追加配布される地域もありますが、遠紋は残念ながら配布されません。国は4月末に配布予定の高齢者分約500人分を医療従事者に転用して接種するよう方針転換し、高齢者への接種は5月から6月へと遅れる予定です。しかし、役場には一方的なメール通知しかなく「私たち首長に北海道から何の指示もメッセージもないことがおかしい！ ワクチンが届かないことは国の責務だが、道内の町に状況を的確に通知することは道の責任だ！」と申し上げてまいりました。ワクチンが届く日程が全くはっきりしていませんので判り次第町民の皆様にお知らせいたします。

毎日温かく野山や草地も緑が増えてきました。最近ヒグマに遭遇した事故を耳にします。山菜獲りも楽しいことですが十分ご注意ください。もう一つ、火災が増えています。野焼き、たばこのポイ捨てなどは山火事の原因となります。皆で気をつけましょう！ では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

